

2024年1月11日

令和5年度 第2回応用物理学会北海道支部役員会 議事録 (案)

日時: 2024年1月7日(日) 12:55-13:45

形態: 北海道大学工学部 A 棟(支部学術講演会会場)B11 講義室

参加者(順不同、敬称略):

植村 哲也(支部長)、森田 隆二(会計監査)、中村 基訓(旭川幹事)、佐藤 勉(室蘭幹事)、盛 鵬(北見幹事)、小田 久哉(千歳幹事)、山崎 憲慈(庶務幹事)、山根 啓作(庶務幹事)、片山 司(会計幹事)、石島 歩(会計幹事)、篁 耕司(人材育成幹事)、本久 順一(支部評議員)、戸田 泰則(支部評議員)、田口 敦清(日本光学会幹事)、柏本 史郎(庶務幹事)

以上 15 名

欠席者(順不同、敬称略):

柳谷俊一(函館幹事)、グエン タン ソン(釧路幹事)以上 2 名

事務局: 惣伊田 ゆり

議事録作成者: 柏本 史郎(庶務幹事)

議題:

● 議題 1 今後の学術講演会について(資料はスライドにより提示)

- 議題 1 の議論に先立ち、植村支部長から今回行われた第 59 回北海道支部学術講演会を振り返っての意見交換提案があった。
  - ◇ 会場幹事(山崎庶務幹事、柏本庶務幹事)より、北大学術交流会館から北大工学部 A 棟への会場変更したことで、会場利用料が不要、会場設営・物品移動の容易さや各講演会場(教室)の広さ等において運営上の利点があったとの報告があった。
  - ◇ 片山会計幹事より、参加費徴収方法を今回からイベントペイ利用による原則事前徴収を導入したことについて、当日の現金取扱いがなくなったこと、またそれに伴い会計業務のアルバイトが不要となる利点が報告された。なお、事前支払いがなされていない参加者(3名)についても、当日のオンサイト手続きで特に問題がなかったことが報告された。
- 山崎庶務幹事より当初予定されていた釧路(釧路市生涯学習センター)での第 60 回北海道支部学術講演会開催についての再考、および北大での開催に変更の場合も含めて秋開催のままとするかどうかについて議論の提案があった。
  - ◇ 釧路開催について、この数年釧路地域からの講演件数が 0 件なこと、会場幹事をサポートする釧路地域の会員に十分な人員がいるかが不透明なこと、それに加えて

開催時期を秋に変更することなどから、運営上の負担が大きくなる危惧について説明がされた。会場の変更については北大開催の変更も含め引き続き検討することとなった。

- ◇ 開催時期について秋開催の場合の具体的な日時について、リフレッシュ理科教室（北大会場、例年 10 月第 3 週土曜日）との兼ね合いや、笹人材育成幹事からジュニアセッション参加者のスケジュール、田口日本光学会幹事から日本光学会年次学術講演会（12 月 1 日、電通大）の影響に関する説明に基づいて議論がなされ、その上で秋開催（10 月または 11 月）の変更はしないことが確認された。詳細日時の決定は会場次第で再度検討する。

## ● 議題 2 その他

- 山崎庶務幹事より日本光学会北海道支部への第 60 回学術講演の共催依頼についての打診があり、田口日本光学会幹事から光学会で検討することの承諾をいただいた。
- 山根庶務幹事から、今後の札幌（北大）を除く地方開催の実施継続性について検討の提案があった。
  - ◇ 発表件数が 0 件の地域での開催の是非、地方開催時に行われていた特別講演の意義、リフレッシュ理科教室も含めた支部活動が近年なされていない地域の現状などについて意見交換が行われた。

報告事項:

## ● 報告事項 1 学術講演会の状況について（資料はスライドにより提示）

- 山崎庶務幹事より直近 5 回分の学術講演会の地域別講演数の提示と推移の傾向について説明があった。
  - ◇ 今回（2024 年）の総件数は昨年よりわずかに増加した。
  - ◇ 2022 年に北大の講演数の減少があったが、2023 年、2024 年と回復傾向にある。
  - ◇ 少なくとも提示された過去 5 年間、釧路地域からの発表が一件もない。

## ● 報告事項 2 2024 年度予算について

- 山崎庶務幹事より 2024 年度予算についての報告があった。
  - ◇ 2023 年 12 月 8 日付で、事務局・会計係より北海道支部から申請済みの 2024 年度予算案に対して、2023 年 12 月 6 日の理事会において承認されたとの連絡があった。
  - ◇ 修正点として、リフレッシュ理科補助金収益が 570 千円から 550 千円に減額となっているが、正式な金額はあらためてリフレッシュ理科担当から通知される。
  - ◇ 第 59 回学術講演会（2024 年 1 月）の会場費が予算案に計上されていたが、会場変更により不要となった。本部に問い合わせたところ、予算は変わらないとの回答があった。

- ◇ 植村支部長より、次回学術講演会の予算措置について質問があった。山崎庶務幹事より今回承認された2024年度予算内に第59回学術講演会(2024年1月)と第60回学術講演会(2024年10月または11月)の予算がそれぞれ計上されており、同じ年に2回目となる第60回分の予算を支部の余剰金(前述の不要となった第59回学術講演会の会場費等)から支出する必要がないことが説明された。

- **報告事項3 その他**

- 特になし。

以上